

# 知能情報処理演習 2 確率的探索課題中間レポート

知能 太郎, 学籍番号?????????-?

平成 29 年 10 月 9 日

## 1 はじめに

本課題で提出すべきレポートの書式と構成を示す。中間レポートは本書式に従って A 4 版で 1 ページ, 最終レポートは A4 版で 2 ページとする。

初めの章で, レポートの課題, 報告内容を簡潔に示す。

## 2 遺伝的アルゴリズム (GA)

既存手法の概要やアルゴリズム, その問題点などを述べる。既存手法とは, 著者が新たに導入する手法の前に存在した手法であり, それに勝る方法を提案し, その有効性を示すのがレポートの目的である。中間レポートでは, シンプル GA が既存手法と位置づけられる。

## 3 提案手法や工夫点

提案手法, および, その他の独自の工夫点について述べる。中間レポートでは, シンプル GA へのエリート保存戦略の追加が, 提案手法と位置づけられる。

## 4 実験

実験の目的, 方法, 結果, 考察の順で書く。図を使って結果をまとめる (図 1 を参照)。また, 各手法の特徴を表を用いてまとめることもできる (表 1 を参照)。図や表のいずれを用いるか, 図表の形式 (折れ線グラフや棒グラフ等) を十分考えて最適な示し方を選ぶこと。図には必ず, 軸タイトルや軸目盛, 凡例などを付けること。レポートで示した図や表は全て, 本文中で引用されねばならない。考察では, 実験によって得られた結果をもとに, 分かったことを示す。考察は感想ではない。

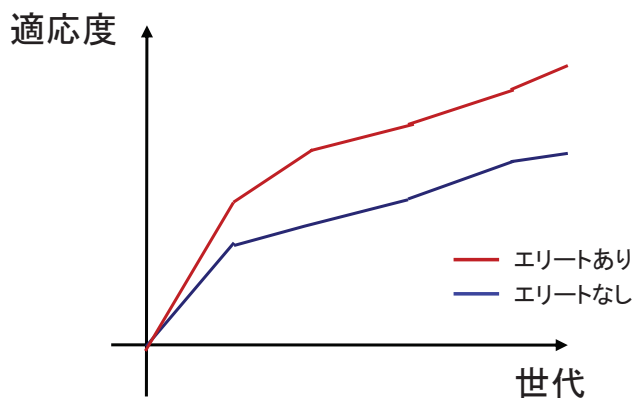


図 1: ここに図タイトルを付ける

## 5 まとめ

実験結果をもとに, 課題の目的が達成されたかをまとめる。確認できたことのほか, 残された課題などについても述べられるとよい。

表 1: ここに表タイトルを付ける

手法	特徴 1	特徴 2	特徴 2
手法 1			
手法 2			
手法 3			